

福島地方環境事務所の最近の動き
(今週の福島)

【最近の動きのポイント】

- ・ 環境大臣メッセージ「東日本大震災から 8 年を迎えるに当たって」を公表しました (3/8)

○ **除染・廃棄物対策関連**

- ・ 双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯館村及び葛尾村の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去等及び除染等工事を実施中です
- ・ 楢葉町内で発生した災害廃棄物等の減容化処理を完了しました (3/3)

○ **中間貯蔵施設関連**

- ・ 平成 28 年 3 月に示した「当面 5 年間の見通し」における平成 30 年度末時点の累積輸送量見通しの最大値 (250 万 m³) を搬出しました (3/9)

< 除去土壌等の輸送の進捗状況 (3/12 時点) >

今年度の輸送対象物量	今年度搬出済量	今年度進捗率
約 180 万 m ³	約 172.6 万 m ³	約 95.9%
累積の輸送対象物量	累積搬出済量	累積進捗率
約 1,400 万 m ³	約 251.2 万 m ³	約 17.9%

○ **リスクコミュニケーション等関連**

- ・ 富岡町文化交流センター学びの森で「第 3 回相談員合同ワークショップ」を開催しました (3/8)
- ・ 福島環境再生に関するトピックを発信する「環境再生レポート」を更新しました (3/12)

0. 福島地方環境事務所

- 3月8日に、環境省の環境再生に関する取組の進捗状況や、環境大臣の復興に向けての決意を示した、環境大臣メッセージ「東日本大震災から8年を迎えるに当たって」を公表しました。
詳細は別添1のとおり

I. 除染・廃棄物対策関連

1 特定復興再生拠点区域の解体・除染について

帰還困難区域内における特定復興再生拠点区域において、各町村の策定した計画に基づき、家屋等の解体・除染を実施しています。

- 最近の動き
 - ・ 双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村及び葛尾村の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去等及び除染等工事を実施中です。
詳細は別添3、4のとおり

2 避難指示解除済み地域等の除染・廃棄物処理関連事業について

帰還困難区域を除き、3月に8県100市町村のすべてで面的除染が完了し、必要なフォローアップ等を実施しています。

各市町村において、必要な被災家屋等の解体等の廃棄物処理を実施しています。

仮置場で除去土壌・廃棄物等を保管しています。搬出が終わった仮置場については、順次、早期の解消を目指し原状回復を実施しているところです。

- 最近の動き
 - ・ 楡葉町で発生した可燃性の廃棄物（津波廃棄物、家の片付け等で排出される廃棄物（片付けごみ）、家屋解体廃棄物、除染廃棄物）の減容化処理を平成31年3月3日に完了しました。なお、同町の仮設焼却施設は来年度末までに撤去する予定です。
- 除染事業及び被災家屋等の解体等の実施状況（除染特別地域、汚染廃棄物対策地域）
別添3のとおり
- 特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況
別添5のとおり

II. 中間貯蔵施設関連

中間貯蔵施設の整備及び除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入を実施しています。

(1) 最近の動き

○ 3月9日時点で、平成28年3月に示した「当面5年間の見通し」における平成30年度末時点の累積輸送量見通しの最大値（250万m³）を搬出しました。

○ 土壌貯蔵施設の近況を、写真を用いてお知らせします（別添6）。
大切な土地をご提供くださった地権者の皆様に心より感謝申し上げます。

○ 除去土壌等の輸送の進捗状況（3/12時点）

今年度の輸送対象物量	今年度搬出済量	今年度進捗率
約180万m ³	約172.6万m ³	約95.9%
累積の輸送対象物量	累積搬出済量	累積進捗率
約1,400万m ³	約251.2万m ³	約17.9%

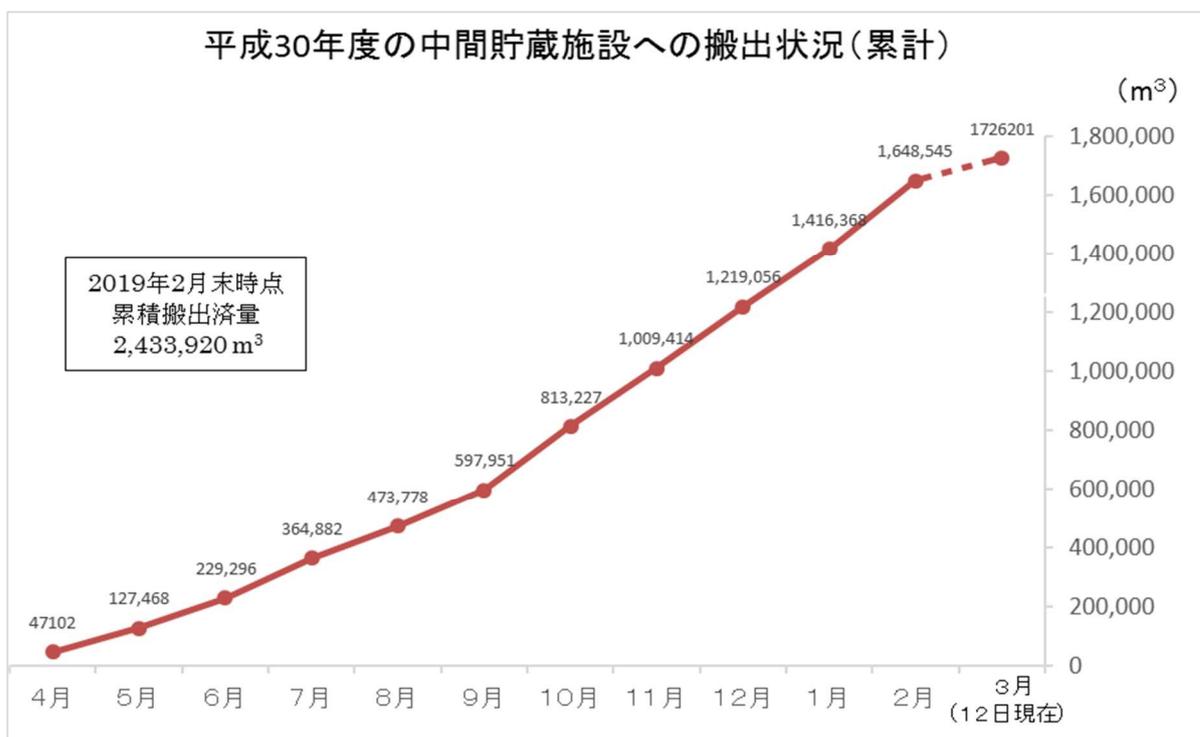
(2) 平成30年度の進捗状況

○ 除去土壌等の輸送

（3月12日までの搬出実績）

搬出市町村		今年度の 搬出可能量 (m ³)	今年度の 学校等(現場保管) からの輸送予定量 (m ³)	今年度の 搬出済量(m ³)	累積 搬出済量 (m ³)
浜通り	いわき市	22,200	7,800	29,984	52,406
	相馬市	16,100	-	11,337	28,283
	南相馬市	113,200	-	104,263	133,988
	広野町	31,900	-	31,648	42,689
	檜葉町	72,400	-	78,129	117,851
	富岡町	162,400	-	159,560	203,009
	川内村	42,400	-	43,912	58,531
	大熊町	147,000	-	118,631	171,603
	双葉町	132,700	-	105,166	152,114
	浪江町	130,300	-	115,428	152,091
	葛尾村	71,400	-	76,436	92,965
	飯舘村	151,600	-	144,556	172,853
中通り	福島市	78,700	20,000	83,381	108,295
	郡山市	67,200	20,900	126,462	189,830
	白河市	33,800	100	41,027	65,588
	須賀川市	22,000	3,600	32,531	47,456
	二本松市	50,000	-	51,709	95,490
	田村市	47,800	300	48,566	77,641
	伊達市	62,600	6,000	59,604	80,546

本宮市	20,600	-	21,590	44,875
桑折町	19,200	-	19,390	36,071
国見町	16,300	-	15,196	26,560
川俣町	71,600	-	59,204	81,520
大玉村	13,700	-	15,026	24,291
鏡石町	0	300	323	7,980
天栄村	16,100	-	14,937	24,646
西郷村	54,900	-	56,845	77,934
泉崎村	15,200	-	16,842	27,273
中島村	6,400	-	5,845	14,150
矢吹町	13,900	-	11,937	21,543
三春町	24,400	-	26,736	44,354
合計	1,728,000	59,000	1,726,201	2,511,576※



※ フレキシブルコンテナ等1袋の体積を1 m³と換算しています。

※ 輸送対象物量1,400万m³は、中間貯蔵施設への搬出済量（国直轄除染市町村：2018年11月末、市町村除染市町村：2018年9月末時点、両者混在市町村（南相馬市、川内村、田村市、川俣町）：2018年11月末）及び輸送待機量（焼却前の可燃物を含む仮置場等で保管している量（国直轄除染：2018年11月末時点、市町村除染：2018年9月末時点）及び仮設焼却施設等で減容化し保管されている量（国直轄除染：2018年11月末時点、市町村除染：2018年9月末時点））の合計量。

- ※ 輸送対象物量 1,400 万 m³には、10 万 Bq/kg 超の廃棄物、その他現時点で定量的な推計が困難な帰還困難区域の除染等で発生した（発生することが見込まれる）除去土壌等は含まれていません。
- ※ 累積搬出済量の合計値には、2018 年 6 月末時点で搬出が完了している市町村の搬出量が含まれているため、記載されている市町村の累積搬出済量の合計とは数字が一致しません。
- 中間貯蔵施設及び周辺の空間線量率等
こちらから御確認ください（中間貯蔵施設及び周辺モニタリング（JESCO サイト）
<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html#hokanba>
- 中間貯蔵施設に係る工事等について
工事等の一覧は別添 2 のとおり

Ⅲ. 放射線健康リスクコミュニケーション等関連

- ① 自治体職員や相談員等の活動の支援、②住民の放射線に関する理解醸成の支援、③環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です。
- (1) 最近の動き
 - 環境再生プラザにおいて専門家派遣・モニタリング支援（説明・測定・資料作成支援）・移動展示等を実施中です。
 - 放射線を可視化するガンマカメラを活用した、住民向けリスクコミュニケーション支援事業を実施中です。
 - 富岡町文化交流センター学びの森において、「第 3 回相談員合同ワークショップ」を開催しました（3/8）。
詳細は別添 7 のとおり
 - 福島環境再生に関するトピックを発信する「環境再生レポート」を更新しました（3/12）。
 - ・ vol. 12 「人と人とをつなぐ、O CAFE（オカフェ）という居場所づくり」
http://josen.env.go.jp/plaza/restoration/report_190312.html
 - ※環境再生プラザでは、今後も福島環境再生に関する様々なトピックを「環境再生レポート」として発信していきます。
 - 震災後の福島で暮らす皆さんの不安や悩みになすびさんがお答えする「なすびのギモン パート 6」が放送されました。
※過去に放送された動画は、環境再生プラザのホームページでご覧いただけます。
<http://josen.env.go.jp/nasubinogimon/>

(2) これまでの実施状況

(3月15日時点)

項 目		実施回数	
		H29年度	今年度
① 自治体職員や相談員等の活動の支援	(ア) 職員向け研修会	77回	36回
	(イ) 専門家派遣	47回	19回
② 住民の放射線に関する理解醸成の支援	(ア) 住民セミナー	72回	38回
	(イ) 車座意見交換会	62回	55回
	(ウ) 個人線量測定の支援(WBC)	83日	83日
	(エ) リスクコミュニケーション拠点(長崎大、弘前大)による活動		
	(オ) ガンマカメラ活用リスクコミュニケーション支援事業	184台・日	180台・日
③ 環境再生等に関する情報発信(環境再生プラザ)	(ア) 専門家派遣	142件	147件
	(イ) 移動展示	42件 [55日]	44件 [60日]

東日本大震災から8年を迎えるに当たって

東日本大震災の発生から、3月11日で8年が経過します。改めて、震災で亡くなられた方々に心より哀悼の意を表すとともに、被害を受けられた方々にお見舞いを申し上げたいと思います。

私自身、就任以来、現地への訪問や、福島県知事や首長の皆様との意見交換を通じ、地元の多くの方々の声を伺うとともに、先日も福島を訪問し、中間貯蔵施設や特定復興再生拠点区域の整備の状況を、直接この目で確かめてまいりました。環境省の取組が進捗していることを実感する一方で、被災地の復興はいまだ道半ばであることを改めて強く認識し、環境省の総力を挙げて取り組んでいかねばならないとの決意を新たにしております。

(除染について)

除染については、昨年3月末までに全ての市町村で面的除染が完了しました。地権者の方々、地元の皆様、関係地方公共団体など、関係する多くの方々の御理解・御協力に、改めて、心より感謝申し上げます。

引き続き、仮置場等の原状回復の取組や、除去土壌の処分方法の検討等の課題は残されておりますので、今後も、一つ一つ丁寧に、取組を積み重ねてまいります。

(中間貯蔵施設について)

中間貯蔵施設についても、地権者の方々や地元の皆様の御協力により、用地取得と施設整備が着実に進捗しています。また、昨冬に、福島県内に仮置きしている除去土壌等について、2021年度までに概ね搬出を完了することを目指すとの方針をお示したところです。引き続き、安全第一を旨として、取組を進めてまいります。

中間貯蔵開始後30年以内の福島県外での最終処分の実現に向け、最終処分量を低減するため、除去土壌等の減容・再生利用の取組を進めることが重要であり、地元の皆様の声をしっかりと受け止めつつ、丁寧な説明に努めながら進めてまいります。

(特定廃棄物の処理について)

特定廃棄物の処理についても、引き続き、安全かつ着実に適正な処理を推進してまいります。また、特定廃棄物埋立処分事業についての情報発信施設の運営等を通じ、地元の方々の信頼確保に努めてまいります。

(特定復興再生拠点区域の整備について)

帰還困難区域における特定復興再生拠点区域については、昨年11月までに、6町村の全てで家屋等の解体・除染工事に着手しました。今後も、特定復興再生拠点区域の避難指示解除に向けて、解体・除染作業を加速化させてまいります。

(その他の取組について)

さらに、放射線に係る健康管理・リスクコミュニケーションに関する取組や、イノシシ等の鳥獣害対策についても、引き続き、関係省庁としっかり連携しながら対応してまいります。

(福島再生・未来志向プロジェクトについて)

これらの取組に加え、官民連携による資源循環型産業の創生、福島県内の自然資源を活用した「ふくしまグリーン復興」の推進、脱炭素まちづくりへの支援、情報発信等を通じた地域振興への支援などの未来志向の取組についても、地元の方々と連携しつつ着実に具体化を進めてまいります。

復興・創生期間も、残り2年となりましたが、福島を始めとした被災地の復興は、いまだ道半ばです。引き続き、被災地の復興・環境再生に向けた取組を、一步一步着実に、力強く進めてまいります。

平成31年3月8日

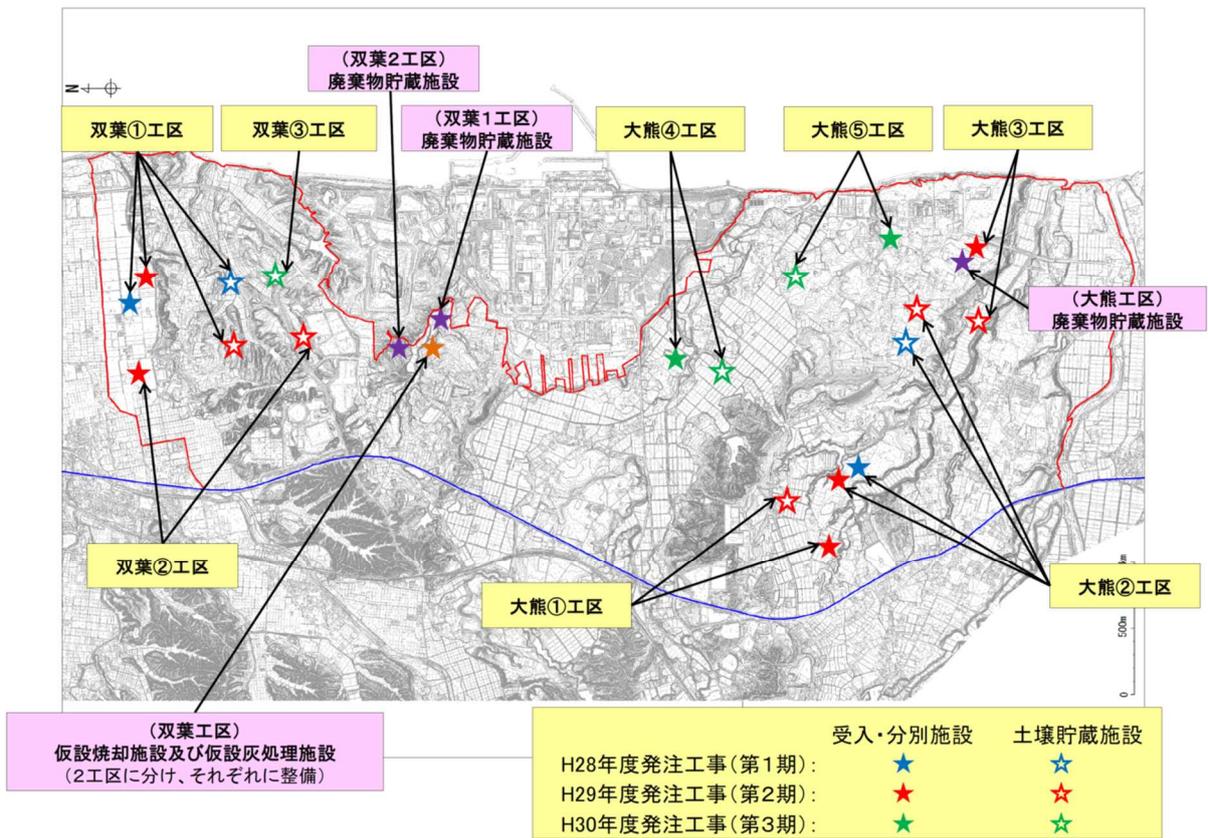
環境大臣

原田義昭

中間貯蔵施設に係る工事等の一覧

	工事名
土壌貯蔵 施設等	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（双葉町）（H28/6/14～） ※H28.11月に着工、H29.12月貯蔵開始
	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（大熊町）（H28/6/14～） ※H28.11月に着工、H29.10月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 1 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29.10月に着工、H30.9月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 2 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/18～） ※H30.1月に着工、来年度春に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 1 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29.11月に着工、H30.7月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 2 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29.9月に着工、H30.7月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 3 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/18～） ※H29.11月に着工、H30.10月貯蔵開始
	○平成 30 年度中間貯蔵（双葉 3 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/6～） ※H30.9月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 4 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/5～） ※H30.12月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 5 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/10～） ※H30.10月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵施設の受入分別処理工事（双葉町）（H31/1/10～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設の受入分別処理工事（大熊町）（H31/1/10～）
	廃棄物 関連施設
○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 2 業務（H30/3/1～） ※H31.1月に着工、H31 年度内に稼働予定	

	工事名
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/3/9～） ※H30.6月に着工、H31年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/3/8～） ※H30.7月に着工、H31年度内に稼働予定
	○平成 30 年度中間貯蔵（双葉 2 工区）廃棄物貯蔵施設工事（H31/3/11～）
その他 施設等	○平成 29 年度中間貯蔵に係る焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町） （H29/12/23～）
	○平成 29 年度保管場等整備工事（大熊町・双葉町）（H30/1/19～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域内他道路工事（H30/7/19～）
	○平成 30 年度焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町）（H30/8/24～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域内家屋等解体工事（大熊町・双葉町） （H30/10/25～）
	○平成 30 年度中間貯蔵に係る保管場設置等工事（大熊町・双葉町） （H30/12/22～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域境界植栽工事（双葉町）（H31/1/17～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域境界植栽工事（大熊町）（H31/1/17～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設に係る除去土壌等輸送工事（双葉町） （H31/1/19～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設に係る除去土壌等輸送工事（大熊町） （H31/1/19～）



除染事業及び被災家屋等の解体等の工事一覧
(除染特別地域、汚染廃棄物対策地域)

市町村	工事名
南相馬市	<p>○平成 29 年度南相馬市環境復旧等工事 (H30/2/13~)</p> <p>※H30. 3 月に着工</p> <p>○平成 30 年度南相馬市仮置場復旧等工事 (H31/1/23~)</p> <p>※H31. 2 月に着工</p> <p>○平成 30 年度南相馬市建物解体等撤去工事 (H30/8/8~)</p> <p>※H30. 9 月に着工</p>
浪江町	<p>○平成 30 年度浪江町仮置場復旧等工事 (H30/5/15~)</p> <p>※H30. 7 月に着工</p> <p><u>○平成 30 年度浪江町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/6/20~)</u></p> <p>※H30. 8 月に着工</p> <p><u>○平成 30 年度浪江町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H31/1/29~)</u></p> <p>※H31. 2 月に着工</p> <p>○平成 29 年度浪江町建物解体等撤去工事 (H30/1/25~)</p> <p>※H30. 3 月に着工</p> <p>○平成 30 年度浪江町被災建物等解体撤去工事 (H30/4/11~)</p> <p>※H30. 6 月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請 (特定復興再生拠点区域) を受付中</p>
双葉町	<p><u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H29/12/4~)</u></p> <p>※H29. 12 月に着工</p> <p><u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H30/1/10~)</u></p> <p>※H30. 2 月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請を受付中</p>
大熊町	<p>○平成 30 年度 (平成 29 年度繰越) 大熊町仮置場復旧等工事 (H30/7/19~)</p> <p>※H30. 8 月に着工</p> <p><u>○平成 29 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/1/25~)</u></p> <p>※H30. 3 月に着工</p> <p><u>○平成 30 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H31/1/24~)</u></p> <p>※H31. 2 月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請を受付中</p>

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

市町村	工事名
富岡町	<p>○平成 29 年度(平成 28 年度繰越)富岡町除染等工事(夜の森地区他) (H29/5/22~)</p> <p>※H29.6月に着工</p> <p><u>○平成 30 年度富岡町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び 除染等工事(その1)(H30/8/7~)</u></p> <p>※H30.8月に着工</p> <p>○平成 29 年度富岡町建物解体等撤去工事(その2)(H29/12/27~)</p> <p>※H30.3月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中</p>
檜葉町	<p>○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)檜葉町仮置場復旧等工事(H30/7/5~)</p> <p>※H30.8月に着工</p> <p>○平成 30 年度檜葉町建物解体等撤去工事(H30/7/9~)</p> <p>※H30.7月に着工</p>
飯舘村	<p>○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)飯舘村仮置場復旧等工事(H30/4/10~)</p> <p>※H30.4月に着工</p> <p><u>○平成 30 年度飯舘村特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び 除染等工事(H30/9/5~)</u></p> <p>※H30.9月に着工</p> <p>○平成 30 年度飯舘村建物解体等撤去工事(H30/4/13~)</p> <p>※H30.6月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付終了</p>
川俣町	<p>○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)川俣町仮置場復旧等工事(H30/6/29~)</p> <p>※H30.6月に着工</p> <p>○平成 30 年度川俣町仮置場復旧等工事(その2)(H31/3/1~)</p> <p>※着工準備中</p>
葛尾村	<p><u>○平成 30 年度葛尾村汚染廃棄物対策地域における被災建物等解体撤去 等及び除染等工事(H30/10/9~)</u></p> <p>※H30.11月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中</p>

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

特定復興再生拠点区域整備の状況 (2019年3月15日時点)

別添4

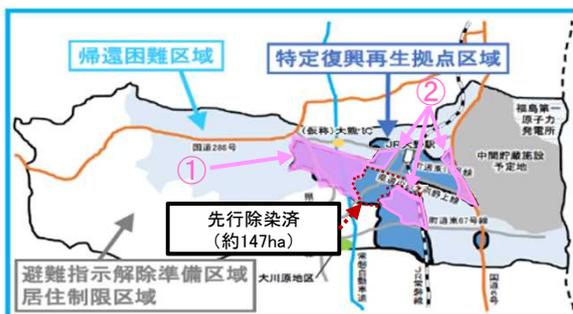
- 福島復興再生特別措置法の改正(H29.5)により、将来にわたって居住を制限するとされてきた帰還困難区域内に、避難指示を解除し、居住を可能とする「特定復興再生拠点区域」を定めることが可能となった。
- 市町村長は、特定復興再生拠点区域の設定及び同区域における環境整備（除染やインフラ等の整備）に関する計画を作成。同計画を内閣総理大臣が認定し、復興再生に向けて計画を推進（計画認定から5年を目途に避難指示解除を目指す）。
- これまでに、以下6町村の計画が認定され、全ての町村において解体・除染等工事を実施中。

双葉町(2017.9.15認定、約560ha)



- 【工事状況】:2017.12.25着工
 ①復興シンボル軸(解体55件、除染約7ha):実施中
 ②駅東地区(解体640件、除染約90ha):実施中

大熊町(2017.11.10認定、約860ha)



- 【工事状況】:2018.3.9着工
 ①下野上西地区(解体460件、除染約160ha):実施中
 ②駅周辺西地区、国道6号線沿線、下野上南地区(解体300件、除染約140ha):実施中

浪江町(2017.12.22認定、約660ha)



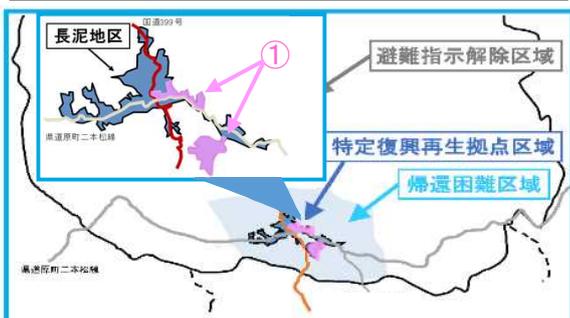
- 【工事状況】:2018.5.30着工
 ①一部道路の除染等工事(除染約4ha):完了
 ②室原、末森、津島地区(解体160件、除染約290ha):実施中

富岡町(2018.3.9認定、約390ha)



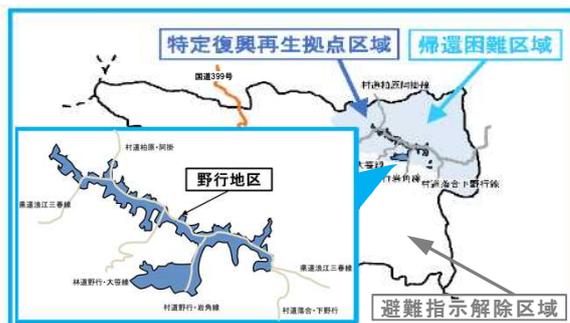
- 【工事状況】:2018.7.6着工
 ①夜ノ森駅周辺(除染約0.3ha):完了
 ②拠点北地区(解体300件、除染約80ha):実施中

飯舘村(2018.4.20認定、約190ha)



- 【工事状況】:2018.9.28着工
 ①長泥地区の居住促進ゾーン(解体20件、除染約30ha):実施中

葛尾村(2018.5.11認定、約95ha)



- 【工事状況】:2018.11.20着工
 ①野行地区(解体10件、除染約0.5ha):実施中

※ 一部周辺地区においても解体・除染工事等を実施中

特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

平成31年3月15日

【最新の進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
3/6～3/12	655	61,833

※搬入は平日のみ実施しています。

※搬入量（袋数）は天候や調整状況により変動します。

【これまでの進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
平成29年11月～平成30年2月	7,842	7,842
平成30年3月	4,060	11,902
平成30年4月	4,965	16,867
平成30年5月	4,287	21,154
平成30年6月	5,615	26,769
平成30年7月	3,445	30,214
平成30年8月	2,504	32,718
平成30年9月	4,410	37,128
平成30年10月	5,804	42,932
平成30年11月	5,557	48,489
平成30年12月	4,723	53,212
平成31年1月	4,467	57,679
平成31年2月	3,051	60,730
平成31年3月(12日まで)	1,103	61,833



搬入状況や環境モニタリング結果など、特定廃棄物埋立処分事業の進捗状況については、ホームページにて公表しています。

http://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/progress/

中間貯蔵施設の近況

別添 6

大熊工区の施設

貯蔵量は、運搬した除去土壌の重量から推計した締固め後の容積



大熊 2期①工区土壌貯蔵施設 (2019. 2. 22撮影)
2019年2月の貯蔵量：約1.6万 m^3 (累計約8.0万 m^3)



大熊 1期②工区及び2期②工区土壌貯蔵施設 (2019. 2. 18撮影)
2019年2月の貯蔵量 (第1期施設/第2期施設)
：約1.3万 m^3 /約3.0万 m^3
(累計約11.1万 m^3 /約11.9万 m^3)



大熊 2期③工区土壌貯蔵施設 (2019. 2. 25撮影)
2019年2月の貯蔵量：約1.4万 m^3 (累計約4.3万 m^3)

双葉工区の施設



双葉 1期①工区土壌貯蔵施設 (2019. 2. 26撮影)
2019年2月の貯蔵量：約0.7万 m^3 (累計約2.7万 m^3)



双葉 2期①工区土壌貯蔵施設 (2019. 2. 26撮影)
2019年2月の貯蔵量：約0.5万 m^3 (累計約3.7万 m^3)



双葉 2期②工区土壌貯蔵施設 (2019. 2. 26撮影)
建設中

大切な土地をご提供くださった地権者の皆様に心より感謝申し上げます。

第3回相談員合同ワークショップを開催しました

別添7

【日 時】 平成31年3月8日(金) 10:30～15:30

【場 所】 富岡町文化交流センター 学びの森

【参加者】 57名(自治体職員、放射線相談員、生活支援相談員、保健師など)

【主 催】 環境省・内閣府原子力被災者生活支援チーム



午前は各市町村の相談員の活動事例を紹介した後、坪倉正治氏(福島県立医科大学特任教授)、土屋智子氏(NPO法人HSEリスク・シーキューブ理事)の講演が行われました。

坪倉氏からは、震災後の健康問題も交えながら、様々なキーワード(問題)から現実的な課題設定を行い取り組む必要性等について、また、土屋氏からは、あらためて「対話」「共考」「協働」といったリスクコミュニケーションの基本を確認しながら、相談業務の大切な点として相手の判断を尊重することなど、実践的な講演をいただきました。

上:講演の様様(坪倉氏)

右:グループディスカッションの様様

午後は自治体職員、放射線相談員等の4グループに分かれて、1年間の活動報告等を通じて情報共有を行うとともに、それぞれが抱える課題も共有しました。

